

可茂会後援会報

第 33 号

2025.12.25

発 行

社 会 福 祉 法 人
可 茂 会 後 援 会
可 児 市 瀬 田 1648-9
発 行 者 加 藤 政 博
TEL 0574-64-3366

障害のある人の家族

可茂会後援会会長 加藤 政博



今年も、後

援会広報誌の

発行が近づき

挨拶原稿に思

いを巡らして

いた時、朝の

TV番組で「障害のある人の家族」

という内容の放送が流れていま

した。

視聴された方もあると思います

が、障害者を抱える私達には興味あ

るテーマであり、ついつい見入って

しまいました。

その中で、特に印象に残った事は

「扶養義務」について取り上げられ

た内容であり、障害者のある家族と

して扶養について再認識させられま

した。これまで親として家族として

障害者の面倒を見る事は当然の義務

であると考えて生活をして来まし

た。

ただ、この番組では「扶養義務」

には、法律上の解釈として、

①「自分と同じ水準の生活をさせ

る」↓自分の夫や妻、未成熟の子

供・・・『強い義務』

②「自分の余力がある範囲で助け

る」↓自分の兄弟、両親・・・『弱

い義務』

の二つがあるという踏み込んだ解説

がされていた。

更に、『弱い義務』とは余力の範

囲で、まず自分の生活を優先させた

上で面倒を見ることであると説明さ

れていました。

自分の子供の事を考えても、現在

は夫婦とも健在であり地域や可茂学

園の福祉サービスの助けを借りて何

とか『強い義務』を果たして来たつ

もりですが、将来は兄妹による『弱

い義務』扶養となります。この「扶

養義務」については、各家庭で事情

も異なり扶養義務者にも生活があり

難しい問題ではありますが、障害者

の面倒をみる義務者が代わったから

と言って生活水準は変って欲しくな

いものです。また、家族である以上

そうシンプルに割り切れるものでは

ないとも思います。この番組では、

扶養する側が一人で問題を抱え込ん

でしまうのではなく、「福祉サービ

スや障害年金の有効活用、親戚や地

域の身近な人々との繋がりなどを大

る。」とのコメントターの発言が
あり、視聴者からも様々な意見が寄
せられていました。

今「障害者のある家族」の一人と

して改めて思う事は、可茂学園でお

世話になっている私達は、介護環境

や条件にも恵まれて一定の扶養義務

を果たす事が出来ています。

今後、知的障害者を抱える方々

の為に可茂学園が「良き福祉サービ

施設」として永く存続されることを

願うばかりです。

さて、令和7年度の後援会活動に

つきましては、昨年同様、役員会や

岐阜県手をつなぐ育成会、可児市健

康フェアへの参加などを実施しまし

た。

可茂学園への支援活動について

は、本年度は大きな事業は行わず来

年6月の移転を踏まえ積立金としま

す。また、学園への随時支援につ

きましては、特に学園からの要望もあ

りませんでしたので、次年度以降の

学園支援費に充当させて頂く事にし

ますので宜しくお願い致します。

最後に、会員の皆様には、日頃か

らご支援ご協力を頂き心よりお礼申

し上げますとともに、皆様方のご健

康とご多幸をお祈り申し上げます。

花と緑とからくり時計の 可茂学園

施設移転建設事業の進捗を見て

施設長 山口 和己



本可茂学園は、

平成三年四月、入
所利用定員五〇名
の「精神薄弱者更
生施設」として開
園しました。これ

までに施設の新・

増・改築を重ね、事業においては、障害者
自立支援法施行を経て、現在の生活介護、
施設入所支援、短期入所、日中一時支援、
共同生活援助事業（グループホーム）、指
定特定及び指定一般相談支援事業等、事業
を拡大しながら現在に至っております。

ただ、瀬田に立地しております本学園の
裏山斜面が平成二十四年十二月、土砂災害
（特別）警戒区域に指定されるという事態
となり、以降、関係者の悩みの種として引
き継がれることとなりました。

こうした状況を経ながら今年度末にも施
設の移転建設事業が完了する段階を迎え、
その財源調達においてご尽力をいただいた
関係方面に感謝の意を表しつつ、ここでご
紹介したいと思います。

後援会及び保護者会からのご寄付をいた
だきましたことは言うに及ばず、公的機関
からの莫大な補助をいただくことをもって
当該事業が成り立った経緯をご報告いたし

たいと思います。

国及び県からの補助金が一番多くを占め
ることはご想像いただけると思います
が、この補助金を採択していただくために
は、移転新築の必要性、補助金以外の財源
の確実な確保など、厳しい条件をクリアし、
かつ多くの福祉施設から寄せられる要望案
件を押し分け、いわゆる最終選考まで残っ
た上で勝ち切らねばならない、というよう
な非常に困難なことでありました。

幸いにも、本年三月二十五日、本移転建
設事業の採択が決定いたしました。六億円
を超える多額の補助金が決定し、どれほど
ホッとしたことか。土地の取得から、建築
に係る設計、造成工事等を進めて来て、こ
こで他の施設が採択されて本施設が選考漏
れにでもなったら、まさに梯子を外され
たようなもので真にゾッとするところだ
した。

また、これより遡ること一年半ほど前、
可児市から補助をいただけるとの明示を受
けたことを励みに、令和五年七月から八月
にかけて、部下一名を伴い、利用者の居住
地（特例）十五市町の障害福祉担当課長
さんの元へ利用者数に応じた補助金のご配
慮をお願いに回りました。

どの市町の部課長さん、担当係長さんも

面談には応じていただけたものの、多く
が、言い方は悪いですが、「何を厚かまし
いことを言いに来たのか？」との思いを腹
の中に持つておられるような対応で、非常
にみじめな思いを押し殺しながらの「お願
い行脚」となりました。

時の移り変わりです。「措置」から「契約」
の時代となった現在では致し方のないこと
ではあったのでしょうか。

このような苦労はあったものの、最終的
には、可児市、美濃加茂市、可児郡、加茂
郡の全市町村のご理解をいただき、合計で
県からの補助金と同額の補助金をいただ
けることとなりました。さらに可児市から
は、土地の取得費の約半分もいただける
こととなり、安定した財源を国及び県に
アピールできたことも補助金採択に幸い
したと思います。

最後に、にわかに進んできた物価高、建
築材料や人件費の高騰をまともに浴びる事
態となり、多額の借入が必須の状況の中で、
長期間の返済にはなりますが、何とか福祉
医療機構から身の丈に合った返済可能な額
をお借りすることもでき、しかも無利息の
特例を適用していただくことができました。

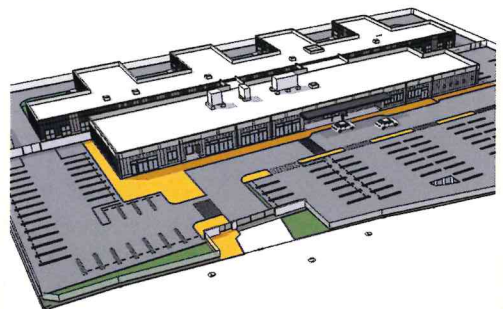
以上、あらゆる方面からご配慮、ご尽力
をいただき、今回の施設移転事業を完遂で
きますことを心から感謝申し上げ、今後の
施設運営の継続をお約束させていただく所
存です。

可茂学園移転建設事業について

可茂学園移転建設事業は、今年の5月に一般競争入札で施工業者が
「宇佐美・栗山・大洞特定建設工事共同企業体」に決定しました。

天候にも恵まれ、工事は順調に進んでいます。外壁も立ち上がって
きており、工事進捗率は12月1日現在で約55%程になっています。

工事の完成は2月末を予定しており、工事検査などを3月末までに
行います。その後、2か月で新しい施設の準備を行い、6月に開園の
予定としております。



「岐阜県手をつなぐ育成会西濃大会」

岐阜県手をつなぐ育成会

西濃大会に参加して

安江 剛生

令和7年7月5日に、岐阜県手をつなぐ育成会西濃大会が大垣市で開催されました。

式典と総会の後に「又村あおい」さんの講演がありました。

「親なき後のお金と住まい」という演題でした。

障害者の家族同居率の話

(65歳未満 90%) 障害者の自立が望ましいという話
(実際は自立は無理)

最近注目される地域生活支援拠点の話

自立した生活と地域社会への参加が望ましい。

障害のある人の住まいを支えるサービスとは、グループホームやシェアハウスや入所施設などですが、障害の程度によっては、シェアハウスやグループホームは利用できません。

自立して生活できない人には、入所施設は、障害者も家族も安心できる所です。

お金については、障害年金など障害者本人が貰うお金は家族が使うことが無いようにして親がなくなっても入所施設や老人ホームなどに、入れるようにすることが大切と言ったことでした。

国、県、の方針も有りむつかしいと思いますが、自立して生活が出来ない人たちのためにも、可茂学園のような入所施設が増えることを望みます。

グループ小旅行に行ってきました

親睦小旅行に参加して

狩川 みゆき

11月20日(木)は、あやめグループの小旅行で蒲郡の「えびせん工房」「えびせんべいとちくわの共和国」「オレンジパーク」に行ってきました。

天候にも恵まれ、朝は寒かったものの、日中は上着いらずの暖かい一日となりました。

昼食前に、「オレンジパーク」で「みかん狩り」が行われ、皆さん思い思いに「みかん狩り」を楽しんでみました。お昼ご飯はオレンジパーク内のレストランで、私たち親子は「牛すき焼き御膳」をいただきました。お肉もやわらかくてとても美味しかったです。

帰りの岡崎SAでは、たっぷり時間を取ってもらえたので、皆さん買い物を楽しんでみました。

予定通り帰園し、お土産を抱えて笑顔でバスから降りられた皆さんの顔を見て良かったと思いました。

コロナが5類に移行した後は学園に於いても少しずつ日常を取り戻して来ましたが、これまで行われていた親睦旅行は無くなりました。しかし、年2回の各グループの一日外出の内1回を親も参加出来る形として取り入れてくれました。

私は今回で3回目の参加となりますが、毎年楽しみにしています。これからも、この小旅行を継続していつて欲しいなと思いました。楽しい一日を有り難うございました。そして、職員の皆さん、お疲れ様でした。



環境整備(草刈り)をしました

後援会の業務委託で可児市シルバー人材センターの皆さんに可茂学園、麦の丘、三ツ池ホームの敷地斜面の草刈りを行っていただきました。

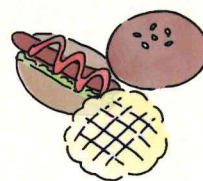


(可茂学園：令和7年6月8日撮影)

「健康フェア可児」に参加しました



令和7年度第32回健康フェア可児が10月19日(日)に可児市文化創造センターa1aで開催されました。可茂会後援会は、麦の丘で焼いた「焼きたてパン」と可茂学園で作った「鍋敷き」を販売しました。天候にも恵まれ、多くの人でにぎわいました。



資源回収報告

資源回収は、皆様のご協力をいただき実施しております。引き続き、よろしくお願いいたします。

■ 資源回収売上実績

令和7年12月1日現在 (単位：円)

実施日	令和6年9月28日	令和7年3月26日	合 計
売 上	8,300	7,620	15,920
可児市奨励金	—	4,640	4,640
合 計	8,300	12,260	20,560



【回収品目】

アルミ缶、段ボール、新聞紙、雑誌
※スチール缶、ペットボトル、ピンは回収していません。

令和七年度

後援会員名簿

＝敬称略＝

◆特別会員

〔二〇〕 吉田整備(株)

エース薬局広見店

広和自動車(株)

村瀬 正樹

◆正会員

〔三〇〕 加藤 政博 宮川 春子

〔二〇〕 長瀬 邦夫 山本 孝盛 揖斐 好久

前島 宗直

〔二〇〕 可児市建設業協同組合

(有)フエニックス

小境電気工事(株)

(株)新興設備

ジェイアイシーセントラル(株)

(株)濃飛葬祭

千賀石油(株)

(株)セイコー

(株)EVERY FOOD

(株)和泉

(有)中部プロパン瓦斯商会

岐阜防災(株)

中部事務機(株)

菅井 省二 藤村 恒行

宮越美知代 小川 裕一

後藤 邦久 一瀬 節江

宇野 剛由
堀井 幸一
山田 輝世

◆育成会員

〔二〇〕 堀田 泰史

〔二〇〕 山田多美恵

〔二〇〕 柴畑 澄子

〔二〇〕 齊藤みはる

〔二〇〕 遠藤八重子

〔二〇〕 渡辺 浩英

伊藤 英二

堀 智子

眞鍋 泰司

石原 福美

中西 敦子

荻山百合子

寶亀 久代

大崎 俊昭

四之宮賢治

吉田 健治

小川 和正

白川 彰美

梅田 實美

高木 洋一

白村味紀子

宮口 信久

長瀬 洋子

〔二〇〕 堀田 泰史

山口 和己

吉田 昌義

可児 幸子

朝日 誠一

菅谷 ゆか

中原 健二

藤田 秀子

高村 峰子

〔二〇〕 渡辺 浩英

〔二〇〕 長瀬 修一

〔二〇〕 山本 信男

〔二〇〕 渡辺美知夫

〔二〇〕 瀬瀬 久也

〔二〇〕 加藤 裕子

〔二〇〕 熊谷 恵子

〔二〇〕 泉濱 巳織

〔二〇〕 渡辺 日鶴

〔二〇〕 渡辺 美幸

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

◆賛助会員

〔五〇〕 小島九十男

〔五〇〕 大嶋 久興

〔二〇〕 長瀬 修一

〔二〇〕 山本 信男

〔二〇〕 渡辺美知夫

〔二〇〕 瀬瀬 久也

〔二〇〕 加藤 裕子

〔二〇〕 熊谷 恵子

〔二〇〕 泉濱 巳織

〔二〇〕 渡辺 日鶴

〔二〇〕 渡辺 美幸

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

澤邊みつる

石橋 陽奈

松村 知樹

川合圭伊子

山口祐実奈

金城里佳子

平林 耕生

加納 学

川合 哲也

加藤 拓男

〔二〇〕 渡辺美知夫

〔二〇〕 瀬瀬 久也

〔二〇〕 加藤 裕子

〔二〇〕 熊谷 恵子

〔二〇〕 泉濱 巳織

〔二〇〕 渡辺 日鶴

〔二〇〕 渡辺 美幸

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

高橋 祐太

長谷川侑香

太田真由美

塩谷 志保

平手 志歩

小嶋ゆうこ

丸山 雅

山口 遼

高橋 将也

〔二〇〕 渡辺美知夫

〔二〇〕 瀬瀬 久也

〔二〇〕 加藤 裕子

〔二〇〕 熊谷 恵子

〔二〇〕 泉濱 巳織

〔二〇〕 渡辺 日鶴

〔二〇〕 渡辺 美幸

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

林 昌輝

加藤ほのか

千田優之介

井戸なのは

前島恵津子

平林なつみ

井戸 駿介

原 和也

〔二〇〕 渡辺美知夫

〔二〇〕 瀬瀬 久也

〔二〇〕 加藤 裕子

〔二〇〕 熊谷 恵子

〔二〇〕 泉濱 巳織

〔二〇〕 渡辺 日鶴

〔二〇〕 渡辺 美幸

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

〔二〇〕 佐藤 陽子

(令和七年十二月一日現在)

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	摘 要
1. 会 費	1,610,000	1,387,000	-223,000	
特 別 会 員	150,000	120,000	-30,000	30,000円×4口
正 会 員	1,200,000	1,040,000	-160,000	10,000円×104口
育 成 会 員	195,000	159,000	-36,000	3,000円×53口
賛 助 会 員	65,000	68,000	3,000	1,000円×68口
2. 雑 収 入	75,508	15,068,201	-7,650	
販 売 収 入	4,000	9,770	5,770	健康フェア売上
資 源 回 収	20,000	13,260	-6,740	アルミ缶等回収
奨 励 金	9,000	2,680	-6,320	可児市より補助金
預 金 利 息 等	588	228	-360	利息
雑 収 入	41,920	15,042,263	15,000,343	定期預金解約
3. 前 期 繰 越 金	1,484,492	1,484,492	0	
合 計	3,170,000	17,939,693	14,769,693	

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	摘 要
1. 会 議 費	15,000	9,126	-5,874	弁当代等
2. 事 務 費	610,000	302,729	-307,271	
通 信 費	10,000	8,354	-1,646	切手代
印刷製本費	40,000	38,280	-1,720	会報印刷代
事務消耗品費	10,000	2,095	-7,905	コピー用紙等
施設整備費	500,000	201,600	-298,400	草刈り業務委託
雑 費	50,000	52,400	2,400	協賛金等
3. 振 込 手 数 料	5,000	4,415	-585	郵便振替（送金）手数料
4. 繰 出 金（寄付）	1,000,000	16,000,000	15,000,000	施設整備費として可茂学園へ
5. 積 立 金	1,540,000	1,200,000	-340,000	施設整備積立金
合 計	3,170,000	17,516,270	14,346,270	

収入総額 17,939,693円

支出総額 17,516,270円

収支差額 423,423円（次期繰越）

令和六年度 社会福祉法人可茂会後援会決算書

監査報告書

令和6年度の可茂後援会決算について監査の結果、その収支は正確に処理され、また証拠書類も整備されています。
よって適正であることを認め報告いたします。

令和7年4月1日

社会福祉法人可茂会後援会

会長 加藤 政博 殿

監事

前島宗直

梅田孝子

特別会計報告書 施設整備積立金

(単位：円)

	収入	支出	残高
令和3年度積立金（めぐみの農協）	1,100,000	0	14,022,000
令和4年度積立金（めぐみの農協）	1,000,000	0	15,022,000
令和5年度積立金	0	0	15,022,000
令和6年度可茂学園移転建設事業へ寄付	0	15,022,000	0
令和6年度積立金（郵便局定期預金）	1,200,000	0	1,200,000

可茂会後援会にご加入を
年間会費
特別会員 一 三万円
正会員 一 一万円
育成会員 一 三千円
賛助会員 一 一千円
可茂学園施設整備資金確保のために、新会員
のご加入をお勧めください。

可茂会後援会事務局
TEL 六四一三三六六



事務局長 伊藤 克人
事務局 原 和也
事務局 井戸 駿介
監事 梅田 實美
監事 前島 宗直
会計 柴畑 直喜
理事 眞鍋 泰司
理事 河合 みゆき
理事 道家 義昭
副会長 安江 剛生
会長 加藤 政博

令和七年度
可茂会
後援会役員